



AMI YAMASAKI

vocal artist, visual artist

山崎阿弥 / 声のアーティスト、美術家

PROFILE

声のアーティスト、美術家。愛媛県出身、東京都在住。

自らの発声と声の反射をつかって空間の音響的な陰影を感得しパフォーマンスやインスタレーションを制作する。声を手掛かりに世界の成り立ちを追求する。

2018 年は国際交流基金アジアセンターのアジア・フェローとしてフィリピンで活動、2017 年は Asian Cultural Council のフェローとして NY 市で滞在制作を行う。近年は「瀬戸内国際芸術祭 2019」「music unlimited 33」(2019、オーストリア)「ONGAKU」(2019、カナダ)「声の徴候」(2016、京都芸術センター)「トーキョー・エクスペリメンタル・フェスティバル vol.09」(2014、トーキョーワンダーサイト)、「Sonic City 2013 Liquid Architecture」(2013、オーストラリア)の展示や「Sounds to Summon the Japanese Gods」(2016、アメリカ)等の公演、国立国際美術館やアーツ前橋でのワークショップ講師、大河ファンタジー『精霊の守り人 II』(NHK)ナレーションと声の出演、TED スピーカー等、多岐にわたり活動する。

ACTIVITIES

2019 瀬戸内国際芸術祭2019・秋会期 (パフォーマンス)

2019 music unlimited 33 (パフォーマンス)

2018 VIVA EXCON 2018 CAPIZ (パフォーマンス)

2018 Stone x Rothenberg x Yamasaki Issue Project Room (パフォーマンス)

2018 The Stone Residency 坂本龍一 (パフォーマンス)

2017 インターメディア・フェスティバル w/刀根康尚 (パフォーマンス)

2017 NHK放送90年大河ファンタジー『精霊の守り人』 (ナレーションと声の出演)

2016 『声の徴候』京都芸術センター (展覧会)

2016 "Sounds to Summon the Japanese Gods" ジャパンソサエティ (パフォーマンス)

2016 TED x Tokyo yz 『人類』 (プレゼンテーション)

GRANTS AND AWARDS

2018 国際交流基金アジアセンター アジア・フェロー

2016 日米交流プログラム・フェロー、Asian Cultural Council・セゾン文化財団

2016 第4回札幌大通り500m美術館賞・グランプリ

2015 トーキョー・エクスペリメンタル・フェスティバルvol.09・奨励賞

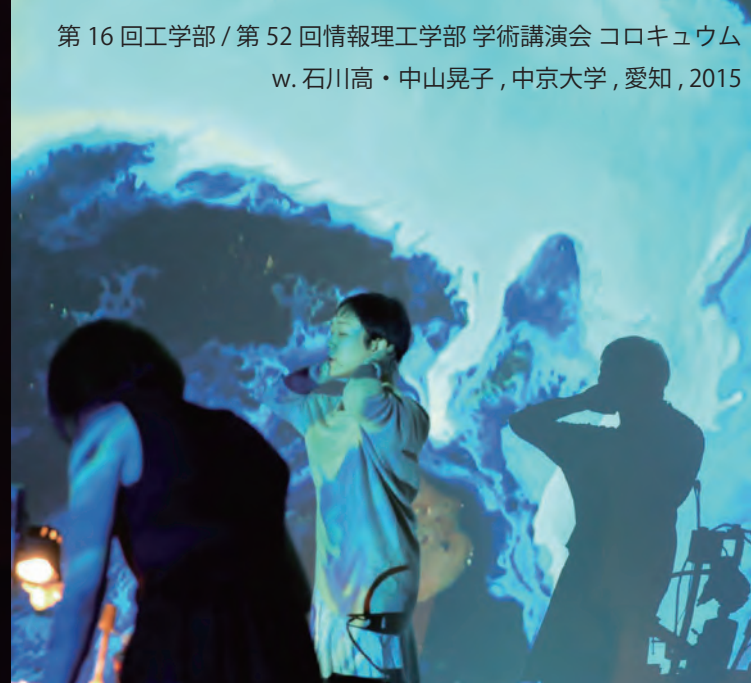
✉ amingerz@gmail.com

🌐 <http://amingerz.wixsite.com/ami-yamasaki>

▶ <https://www.youtube.com/user/amingerz>



「火影に夢を見る」w. 首くり栲象
生西康典演出, 旧東京電機大学跡地, 東京, 2015



第 16 回工学部 / 第 52 回情報理工学部 学術講演会 コロキウム
w. 石川高・中山晃子, 中京大学, 愛知, 2015



焼酎の発酵音響による現代神楽『甕の音なひ』
九州大学ソーシャルアートラボ・藤枝守
住吉神社能楽殿, 福岡, 2015

声のパフォーマンス

山崎阿弥の表現活動の中心には、山崎自身の声がある。

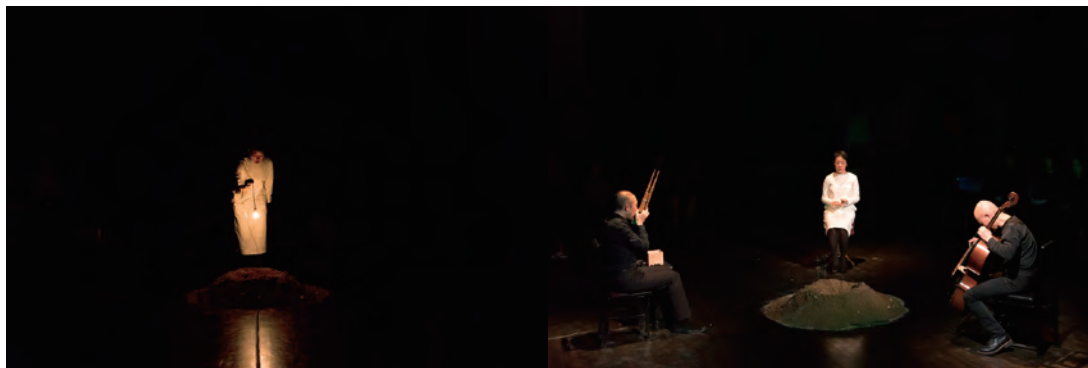
自分の声の反射・反響を全身で感じ取ることによって、自分が存在する空間の響きを細やかに認識する。その気づきから生み出された作品やパフォーマンスを媒介に、空間と鑑賞者を結び、見えない・聞こえない何かを顕在化させようと試みている。



ナレーションと声の出演『精霊の守り人 II』, NHK, 2017

山崎は、声が音声としては聞こえなくなった後も物理現象＝振動として空気中に存在し続けると考える。声の発生・消失・その後についてそれぞれ検証・考察し、世界のしくみを読み解く思考実験として作品やパフォーマンスを行う。

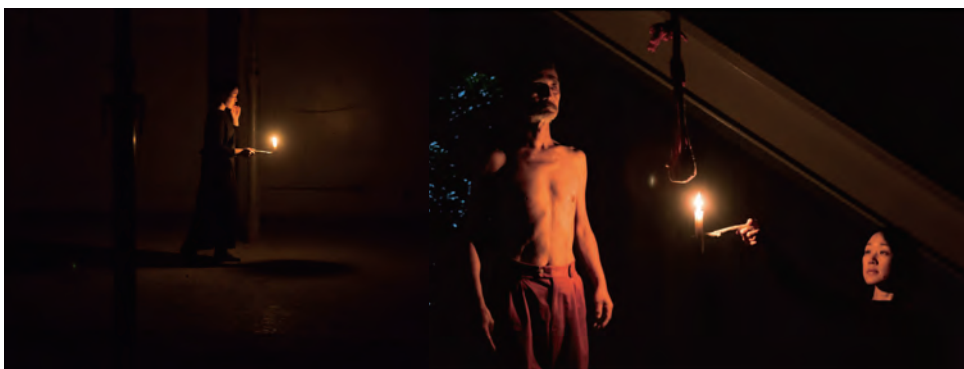
声のパフォーマンス



『声の徴候 | 声を 声へ 声の 声と』 w. 石川高・森重靖宗
京都芸術センター, 京都, 2017



『Sounds to Summon the Japanese Gods』 ジャパン・ソサエティ, NY市, アメリカ, 2016
九州大学ソーシャル・アーツ・ラボ, 藤枝守『甕の音なひ』 住吉神社, 福岡, 2015



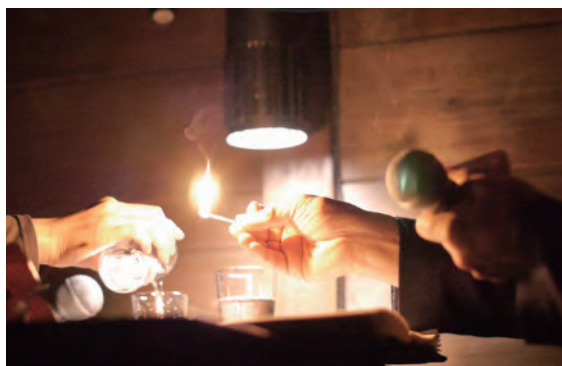
トランスアーツトーキョー『火影に夢を見る』
w. 首くくり栲象, 旧東京電機大学, 東京, 2015



学術講演会 コロキウム『New Approaches』
w. 石川高・中山晃子, 中京大学, 愛知, 2015



『山口小夜子 未来を着る人』
東京都現代美術館, 2015



『あわいの静まり』 w. 飴屋法水
レディー・ジェーン, 東京, 2014



『a day, unsung』 RMIT 大学
メルボルン市, オーストラリア, 2013



『形と暴力が私をパレードする』
CIQ プラザ, 神奈川, 2013



トランスアーツトーキョー『燃える人影』
旧東京電機大学, 東京, 2012



「静かな部屋、うたうまで」 Tokyo Experimental Festival, トーキョーワンダーサイト, 2014

羽根の サウンド・インスタレーション

紙製の羽根を数十万枚、壁面に貼り付け、空間の響きを変化させる作品。
最初に作者（山崎）は、何もない展示空間で声を発し、声の反射を耳・声帯・皮膚で感得することによって響きの状態をチェックする。特徴の強い箇所に数十万枚の紙製の羽根を貼付し、響きを共鳴・反射・吸収させる。全ての空間が材質・構造・容積によって固有の響きを持っており、作者はそれを「歌」だと考えている。その歌を引き出すために羽根を貼る。また、聴覚世界は各人のこれまでの生活や環境、耳の形状などの組み合わせで千差万別である。空間の「歌」に耳を傾けることは、自分自身に出会うことでもある。



「ソング／もとのけもの、リズム」 国際芸術センター青森 2013

羽根のサウンド・インスタレーション

『亡霊ー捉えられない何か』瑞雲庵，京都，2016 年



『都肢、耳が瞬くときの』第 4 回札幌 500m 美術館 賞展，北海道，2016 年



『声の徴候 | 声を声へ声の声と』京都芸術センター，京都，2016 年



ピエゾ素子付の手袋を装着し羽根の表面をなでると、振動を音に変換して聞くことができる。
紙の種類・テクスチャーの違いによって異なる振動が起き、異なる音がきこえてくる。



『静かな部屋、うたうまで』トーキョーワンダーサイト，東京，2014 年



『ソング／もとのけもの，リズム』ACAC, 青森，2013 年



ワークショップ



『リッスン 一耳で知る一』 『他人の時間』 展 関連企画 2015. 8/22, 23 国立国際美術館 (大阪)



『音をむかえに』 「Exchange - 種を植える -」 展企画 2013. 10.29 / 11.2 / 12.1 青森公立大学国際芸術センター青森 (青森)



『おとどけアート アーティスト・イン・スクール』 2016. 10/3 - 10/22 札幌市立鴻城小学校 (北海道)

経歴

助成

2018 国際交流基金アジアセンター アジア・フェローシップ
2016 日米アートプログラム
アジアン・カルチュラル・カウンシル、セゾン財団フェロー

受賞歴

■2016 グランプリ: 第 4 回札幌大通り 500m 美術館賞, 札幌
■2015 奨励賞: トーキョー・エキスペリメンタル・フェスティバル, トーキョーワンダーサイト, 東京

学歴

愛媛大学法文学部文学科社会学専攻卒、学位取得

資格

学芸員

アーティスト・イン・レジデンス

■2018 2/1-2/28 アート NPO RhizomeDC (米国)
■2018 2/1-2/28 RhizomeDC (米国)
■2017 7 月 - 2018 年 1 月 Westbeth Artist Community (米国)
■2016 10/3-10/22 「おとどけアート」 札幌市立鴻城小学校
■2013 9/11-12/20 青森公立大学国際芸術センター青森
■2013 8/12-9/2 ロイヤルメルボルン工科大学, オーストラリア
■2011 9/1-10/6 プロテウス・ゴワナス・ギャラリー, 米国

リサーチプロジェクト

■2014 – 2015 「旅するリサーチ・ラボラトリー – フィールドワークと表現 –」 (アーツカウンシル東京)

パフォーマンス

2019「池袋西口公園野外劇場開館記念公演 w. 大友良英」東京
2019「しんわ - オーケストラ・アンサンブル金沢」金沢歌劇座, 石川
2019「瀬戸内国際芸術祭」男木島・伊吹島, 香川
2019「music unlimited 33」オーストリア
2019「ONGAKU」918 BATHURST, カナダ
2018「冬至光遙拝」江之浦測候所、神奈川
2018「VIVA EXCON 2019 CAPIZ」フィリピン
2018「World Listening Day 2018」アテネオ美術館, フィリピン
2018 Stone x Rothernberg x Yamasaki, Issue Project Room, 米国
2018「坂本龍一 The Stone Residency」米国
2017「インターメディア・フェスティバル w. 刀根康尚」米国
2017「サーフェイス」Westbeth Artist Community, 米国
2017「サンデーズ・オン・ブロードウェイ」米国
2017「声が灯す夜のとぼり」アーツ千代田 3331, 東京
2016「甕の音なひ」ジャパン・ソサエティ, 米国
2015 現代神楽『甕の音なひ』住吉神社能楽殿, 福岡
2015 第 16 回工学部 / 第 52 回情報理工学部 学術講演会
コロキュウム, 中京大学, 愛知
2015「火影に夢を見る」旧東京電機大学跡地, 東京
2015「踊りに行くぜ !!」II vol.5 桑折現『To day』
札幌・仙台・博多・神戸・東京巡回
2014「あわいの静まり」w. 鮎屋法水, Lady Jane, 東京
2013「形と暴力が私をパレードする」CIQ プラザ, 神奈川
2012「yes, me」, YES Theater, 難民キャンプ, パレスチナ
2011「ENERGY」, CRS, Proteus Gowanus, NYC, 米国
2010 DANCE 2000 FESTIVAL「LETTERS」Theatre ZERO, 韓国
2010「春の嵐」w. 灰野敬二, Lady Jane, 東京

グループ展

2021「JAPAN. BODY_PERFORM_LIVE」
Padiglione D'Arte Contemporanea, イタリア
2020「カンジ・ムジカ」漢字ミュージアム, 京都
2016「亡霊」瑞雲庵, 京都
2016「札幌 500m 美術館賞」500m 美術館, 札幌
2015「山口小夜子 未来を着る人」東京都現代美術館
2014「Tokyo Experimental Festival vol.9」
トーキョーワンダーサイト本郷, 東京 (奨励賞)
2013「Exchange 一種を植える」国際芸術センター青森, 青森
個展
2018「The First Question」mono8, マニラ, フィリピン
2018「f/weather」RhizomeDC, ワシントン D.C., 米国
2016「声の徴候 | 声を 声へ 声の 声と」京都芸術センター
2013 The Sonic City「a day, unsung」BLINDSIDE, メルボルン, オーストラリア
2011「voices –feather composition–」Proteus Gowanus, Reanimation Library, NYC, 米国

2008「光 -hikari-」仮設スペース, 東京
2006「毎日死んで、毎日生まれる」小川町ギャラリー, 東京
2003「腑（こころ）の窓」INAX ギャラリー, 石川

ワークショップ

2017「身体拡張ラボ」(アーツ前橋・群馬)
2015「リッスンー耳で知る」(「他人の時間」展関連企画)
国立国際美術館, 大阪

その他の活動

2020 映画『さよなら、ティラノ』声による音響効果
2020 講演 日経新聞 COMEMO
「アート・シンキングの学校 # 00」hoops link tokyo
2019 講演「音・環境・コミュニケーション」慶應大学
2019 講演「動物のいのち 2」明治大学
2017 NHK 放送 90 年大河ファンタジー『精霊の守り人 II』ナレーションと声の出演
2016 TEDxTokyoyz「人類」プレゼンテーション